

平成 16 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 4	学校名	茨城県立北茨城養護学校				課程	全日制				学校長名	大串 勝博				
教 頭 名	村田 孝二								事務長名	神長 琢二							
教職員数	教 諭	68	養護教諭	2	常勤講師	10	非常勤講師	4	実習教諭 実習講師 実習助手	2	事務職員	5	技術職員等	7	計	98	
生 徒 数	学部等	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合 計 クラス数	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	小学部	5	2	8	5	9	4	5	4	4	3	6	4	37	22		18
	中学部	10	2	9	3	7	3							26	8		10
高等部	16	4	15	7	8	4							39	15	10		

2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> ・明るく楽しさにみなぎる学校 ・力いっぱい活動できる学校 ・環境を十分に活用できる学校 ・家庭や地域に開かれた学校
--

3 現状分析と課題

項 目	現 状 分 析	課 題
(1) 個に応じた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年度には「個別の教育支援計画」の様式が整い、実際の運用が始まった。それにより、これまで以上に組織的、計画的に ア 個に応じた指導の実践 イ 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実に向けた取り組みが進められている。 ・平成 16 年度より「総合支援プロジェクトチーム」が校務分掌上に位置づけられ、児童生徒への支援、地域への支援、教員の専門性の向上などについて、総合的に取り組む体制が整いつつある。 	(1) 個別の指導計画に基づく授業の実践
(2) 地域における特別支援教育のセンター的役割		(2) 保護者との連携・協力による個別の指導計画の作成と、評価の共有化、。
(3) 総合支援プロジェクトチーム		(3) 教員一人一人の課題意識に基づくグループ研修・研究の推進。
		(4) 早期教育相談の充実、小中学校との連携、移行支援連絡協議会の充実などによる地域の特別支援のネットワークづくり。

4 中期的目標

- | |
|--|
| (1) 児童生徒及び保護者のニーズに応じた、個別の教育支援計画の作成と運用
(2) 教員一人一人の課題意識に基づく積極的な研修・研究を通じた専門性の向上
(3) 進路指導の充実
(4) 地域の特別支援教育のセンター的役割を果たす学校づくり |
|--|

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	(1) 個に応じた指導の充実 (2) 課題に基づくグループ研修・研究 (3) 関係機関と連携した移行支援の推進 (4) 総合支援プロジェクトチームの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加による個別の指導計画の作成 ・保護者との評価の共有化（年2回の実施） ・研究のまとめ及び公開研究会の実施 ・幼稚園保育園との連絡協議会の開催（年2回） ・移行支援連絡協議会の開催（年2回） ・形成的学校評価を通して、課題の明確化 	
2年次	(1) 個に応じた指導の充実 (2) 課題に基づく研修・研究の推進 (3) 地域の特別支援教育のセンター的機能の充実 (4) 地域・保護者参加の学校評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会の実施（各学部年2回以上） ・重度重複障害教育の充実 ・グループ研修の評価と一人一課題の設定 ・幼稚園保育園、小中学校との連絡網の整備 ・移行支援連絡協議会の充実 ・校内学校評価委員会による形成的学校評価の公開 	
3年次	(1) 個に応じた指導の充実 (2) 一人一課題に基づく研修・研究 (3) 地域の特別支援教育のセンター的機能の充実 (4) 地域・保護者参加の学校評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究会（保護者参加）の実施 ・校内研究発表会の実施 ・地域の特別支援データベースの作成 ・ITを活用した関係機関との連携の推進 ・地域・保護者参加による形成的学校評価の実施 	